

総合科学部

モーツアルトのように

総合科学部長 生和 秀敏

大学に入学するからには、それなり
の志をもって欲しいと思う。でも、
確固不動な目的意識を期待しているわ
けではない。何が何でも前へ一直線と
いう明治大学のラグビーにも翳りがみ
え、臨機応変・自由自在のシャペン
ラグビーが世界の主役になるうとして
いる時代である。当面の目標は必要だ
が、後生大事に護ることはない。新し
い目標が見つかったら、それが自分に
ふさわしいと信じていくことができた
ら、ステップを切り替えたい。

「モーツアルトは目的地を定め
ない。彼の歩き方が目的地を定めた。彼は
つも意外なところへ連れて行かれたが、
それがまさしく目的を貫きたいとい
うことであった」。これは小林秀雄の「モ
ーツアルト」の中の一文である。彼の精
神の自在な運動を支え、独創を生んだ
のは、目的意識という呪縛からも解き放
たれた観念の自由さがあつたのだろう。



新しい学問
を創造しよう
とする場合、
その基盤となる幅広い知識と技術は不
可欠であるが、ステレオタイプな思考
様式から脱却することが最も重要であ
る。批判的に物事を見る
ということは、自分自身
が自由であつてはじめて
可能になる。軽薄である
という誹りを免れない
モーツアルトではあるが、
多分それは、蝶のように
軽やかな精神の自由さを
楽しめない者の僻みも含
まれてくる。

二十一世紀を旨指す
モーツアルトたちよ、総
合科学部は心から諸君を
歓迎する。
(せいわ・ひでとし)

総合科学部の使い方

総合科学部学生 土持 裕胤

「総合科学部って
何を勉強すると
ころなの」と、よく
質問される。あり
りとあらゆる専門
分野の先生がいる



この学部では、何でも学べる反面、自分なり
のテーマを持って講義やコースを選択しない
と、「漂流者」と化してしまう。選ぶ道が多
い分、実は何かと難しい学部なのである。
あたりまえのことだが、コースや研究室の
選択は、その名称だけで判断することは避け
たほうがよい。自分のやりたいことができる
研究室、卒業まで仲良く付き合っていける先
生を選ばないと、実際に研究内容や人間関係

宝物を探そう

総合科学部学生 丸橋 志功

総合科学部の新入
生の皆さん、入学お
めでとう。皆さんは、
総合科学部で何を学
びたいと考えていま
すか。皆さんの目標
は異なると思います。



総合科学部にはさま
まな専門分野がありま
す。そこで、自分が決
めた専門分野以外にも積
極的に学んでもらいた
い。総合科学部の特色
は、専門分野以外も自
由に学べるところにあ
ります。考え方の違う
人と共に学ぶことで視
野が広がり、必ず自分
の宝物となるでしょう。
大学では、待ってい
ても宝物は出てきませ
ん。皆さんが、自らの
力で探すのです。勉強
はもちろんのこと、サ
ークル活動、アルバイ



学生の憩いの場(スペイン広場)

で苦労した人が何人もいる。もし興味のある
研究室があれば、積極的に足を運んでみよう。
講義だけではわからない先生の人間性や研究
内容の面白さなどを知ることができるかもしれ
ない。
アルバイトやサークル活動、そして幅広く
学べる総合科学部のシステムをうまく利用し、
バランスよく自分を磨いてほしい。自らの道
は自らの力で。
(つちもち・ひろつぐ)

トなどさまざまなことに挑戦してください。
そして、大学生活の中で少しでも多くの宝物
を見つけてください。
皆さんの将来は、皆さん自身にかかってい
ます。私自身も、皆さんの宝物探しのお手伝
いができれば幸いです。皆さんの素晴らしい大
学生活に期待しています。
(まるはし・ゆきのり)

輝く未来へステップアップ

総合科学部学生 天野 哲朗

新入生のみなさん、
入学おめでとう。さ
あ、いよいよ大学生
活のスタートだ。受
験勉強も終わり、今
を楽しみながら生き
る生活が始まる。僕自身三年間大学生活をし
て思うのは、大学生活とは、将来自分になり
たい自分に向かってステップアップする時だ、
ということである。夢、仕事、趣味、家庭、
なんでもよい。十年後、二十年後に、なつて
いたい自分になるために、あらゆる経験をし
て、必要な資質を身につけて欲しい。



辛い総合科学部にはさまざまなチャンスが
ある。日本中どこを探してもないであろう盛
り上がりを見せるオリエンテーションキャン
プもあれば、文系、理系両方の友人を持つこ
とも容易だ。そういった一つ一つの出会いや
経験を大切にして、有意義な大学生活を送っ
て欲しい。
卒業する時に、どれだけ多くの経験や友人
という財産を持っているかで、君の未来は大
きく違ってくる。輝く君の未来に向かって、
君自身の力でステップアップして欲しい。
(あまの・てつろう)